



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

掲示板法話

南無阿弥陀仏をとなふれば

この世の利益きはもなし

(浄土和讃・現世利益讃より抄)



一年中で最も寒さ厳しいこの頃、皆さまお元気に、お変わりなくお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの変異株が感染を増やしているようですが、行動制限がない中、行動には充分注意して寒季節を乗り切って頂きたいですね。

最近、従来寺との縁のなかつた方々から「終活」の相談をよく受けます。かなり高齢になり、いつこの世の命が尽きるかもしれないが、後を継ぐべき子供たちは遠隔地で働き、転勤もあるので、あてにならない。近くにいるのは嫁いだ娘だけで、あまり負担はかけられない。身体はだんだん弱ってくるので、今のうちにお葬儀やお墓のことなど安心して、落ち着いて暮らしたい、……。

お話を聞きつつ、「この人、お寺という、死後の葬儀や法事のことしか念頭にないようだな」と思ったので、次のように話しました。

「お寺は、何よりも仏法の教えを聞いて、今から人生をよりよく生きる道を聞くところです。仏さまは一切衆生

を救いたいと、この我々が浄土に仏と成る道を開いて下さっています。そこにこの人生の本当の目標と意味が明らかになるのです。毎月「善正寺だより」をお届けしますので、よく読んで質問やご相談があれば、お電話でも、お越しになっても結構です。お氣楽にご縁を結んで下さいませ」とお話ししました。その後、本堂にご案内、一緒に聖典を開いてお勤めし、「ご本尊さまに合掌・称名・礼拝して頂きました。」「ああ、これで安心です。よろしくお願ひ申し上げます」と晴れやかな表情でお帰り頂きました。

南無阿弥陀仏をとなふれば

この世の利益きはもなし

流転輪廻のつみき入て

定業中天のぞこりぬ

(浄土和讃・現世利益讃)

「南無阿弥陀仏を称える身になれば、この世で頂くご利益は極まりない。迷いの世界を流転する罪も消え、寿命に限りがあることや、その途中で死んでしまうという恐れも断ち切られる」という意味ですね。まさに、生死を超えお念仏の功德を頂くのです。だから、一人住まいの心細さや死後の心配など、すべて仏さまにおまかせできる世界が見えたのでしょうか。

皆さん、早く後生の一大事に目覚め、心晴れ晴れ日々の勤めに励みましょう。



☆ 写真アラカルト ☆



☆行事ご案内☆

◇2月の例会:2月19日(日)午前8時半

◇三重組十三日講 講師:葛野洋明師

3月13日(月)午前10時、午後1時

6年ぶりに三重組十三日講初講の会所が当たります。皆様のご協力とご参詣をお待ちしています。

◇3月19日(日)午後1時半『春季永代経』

講師:山田教尚師 (今回は十三日講があるため一日だけの開催) 午前は招待者のお経開き

◇3月20日(祝)午前9時 三全仏婦『総会』

善正寺本堂、今年から朝9時の開催に変更!

◇一縁会テレホン法話TEL059-354-1454

1月16日~22日住職が担当。3分で聞ける法話

◇夕方5時の鐘撞き年中無休で誰でも撞けます。

合掌出来る子供に!ご褒美にガム、チョコを進呈

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」検索1年分の

寺報閲覧可。毎日更新「住職と坊守のつれづれ日記」

のブログが大人気!14年6ヶ月で39万8千訪問、

お悩み相談歓迎、即返信、最近相談者が増加中

新納骨堂後継者の無い方、墓でお困りの方ご相談を

法事場所でお困りの方本堂使用可。寺に相談下さい

坊守スケッチ

人は死んだら終いではない

▽小学生の部(全文)



小1の佐藤巨紀君の『お父さんにもらった優しいウソ』という作文が全国作文コンクールの優秀作品となり、ネットで紹介され、私は大変感動した。紙面の都合上要点を掲載させて頂く。

僕が2歳の時、お父さんは「遠い所で仕事をやるから、お母さんと元気に過ごしてね」と言いました。まだ幼かったのでよく覚えていませんが、お母さんのスマホにその動画が残っていました。実はこれはお父さんがついた最初で最後のウソだったのです。

その1週間後に、お父さんは白血病で亡くなりました。この言葉を残したのは、病気が分かって入院する日でした。お父さんは僕が悲しまないようにわざとウソをつきました。ウソは良くないけれど、お父さんが僕の為にしてくれた優しいウソだと思います。

動画でこの言葉を聞く度にお父さんに会ってみたくありません。僕が悲しければお父さんも悲しい。お父さんの優しさを思っ「頑張ろう」と思います。いつかお父さんのウソが本当になつて、「帰って来たよ」と突然僕の前には現れる気もします。こう思えるのはお父さんの優しいウソのおかげです。

お父さんが死んでしまったことは知っています。お父さんに伝えたいです。「お父さん、ウソはばれてるよ！」

だつて病室でお父さんが横になつて目から涙が一寸だけ出て、声が寂しうだったから・・・でも僕は騙された振りをし続けようと思います。

お父さんの優しいウソのおかげで、僕の心は強くなりました。これからもお父さんの言葉を信じ、お母さんと元気に過ごしたいです。お父さん、優しいウソをありがとう！

この作文を読んで、皆さんはどう感じられましたか？
「人間は死んだら終いではない！」
後に残る人々に、どんな言葉(生き様)を残していくかが、先立つ人の役目のような気がしてなりません。

お悔み申し上げます

合掌

松岡敏夫様 12月27日往生 81歳、別名カンパ・切手・ありがとう

矢田たず様、澤田美智江様、水谷勝子様、釈妙玉様、鈴木登代子様、本田和子様、富田和代様、他匿名様、感謝！
お知らせ&ホットニュース

※3月は行事が満載。13日(月)午前、午後『三重組十三日講』葛野洋明師

※19日(日)『春季永代経』午後1時半山田教尚師、午前お経開き、今回は

三重組十三日講と続くので一日限り、※20日(月・祝)午前9時『三全仏教婦人会総会』今年から朝9時に変更！

善坊守の子育て日記No.97

今年のお正月は、雪が降らずに穏やかでした。昨年末も天候に恵まれて、例年より大掃除がはかどりました。

12月29日は毎年恒例の我が書道教室の大掃除の日です。子ども達は掃除をしに来るよりも、その後に配るお菓子や景品を目当てに来ているようです。学校で掃除の時間はあっても、なかなか自宅などを掃除する子は少ないので、良い機会だと思えます。

「面倒くさ〜い」と言う子もいれば、「俺がピカピカにしてやるんだ〜」と息巻く子もいます。雑巾がけ競争では体の大きな子が前に進まなくて、皆の笑いを誘っていました。床も机もピカピカになりました！

掃除後は検定合格証を一人ずつに配布して、クイズタイムです。正解すればお菓子がもらえます。団体戦の間にはヒントを出し、子ども達が首を捻って考える様子は面白かったです。そしてお菓子や文房具、玩具などが入った福袋(?)を渡してお開きです。

短時間ですが子ども達とお稽古以外の触れ合いを持ち、新年準備が整えることができました。掃除してくれたみんな、ありがとう！



俳壇・法歌

新年や玄関に靴大中小 釋妙水

嫁の味見事に並ぶおせちかな

ミニ盆栽松竹梅に千両も

太陽の洪みを集め干大根 釋楽邦

木の葉飛び森のざわめき明日は雪

洋上に煌めく道や初日射す

理髪店ポインセチアの並ぶ窓 釋住安

膝掛をくるりと掛けて毛糸編む

養虫や宙ぶらりんに吹かれをり

ダイヤ富士映る画面に弥陀の声釋瑞華

我が歩み数多の苦難時を経て

いきつく先に南無阿弥陀仏

地付山凍える景色わが前に

世の安穩を南無阿弥陀仏

「百選の水」の郷なり初明り 釋普教

呑みくだすごくりのんどや寒の水

手袋を外して結ぶ靴のひも 釋秀龍

冬晴れや社殿の屋根のうすみどり

特急の大きな窓や冬青空

本堂に淑氣の満ちて初参り 釋清風

真直ぐに向かひて拝む初日の出

歌留多とり競ひて札の乱れ飛ぶ

★ 編集子より ★

「善正寺だより」350号をお届けします。◇一年中で最も寒い季節、コロナの変異株が感染増を招き、インフルエンザも流行している。そんな感染を避けるには心身の免疫力が大切だと言われる。◇身体の免疫力と共に心の免疫力が大切。◇狭い枠から脱却して、広い大自然界と交流しましょう。春の足音が聞こえてくるでしょう。合掌。

季節は瞬く間に移り変わります。コロナは依然として収まらず、ロシアのウクライナ侵攻も終息の気配がありません。不安と混迷を深める昨今ですが、こんな時こそ心の拠り所を見つけて人生百年時代を逞しく生きていきたいものです。最近はお悩み相談で来訪する人が増えています。また、「お悩み事、仏事相談何でもお気軽に善正寺」とHPのキヤッチコピーですので相談しやすいのかもかもしれません。ところで「人はどんな時に幸福を感じるか？」というテーマで、研究した学者がいます。それによると「味わって食べる」・「所有よりも経験にお金を使う」・「おしゃべり等の能動的な活動をする」・「自然と触れ合う」・「感謝の気持を表現する」・「質の良い睡眠をとる」等です。また各瞬間の幸福感ではなく、後で幸福感をもたらす行動や経験に焦点を当てることが重要だと指摘します。そして自分が一人占めする幸福感はすぐに色褪せるので、幸福感を共有できる人を見つかることも肝要です。先ず私が思い浮かんだのは「らとも」(寺友)の存在です。人の絆が希薄になる時代ですが、お寺の絆を超えてご一緒にご法話を聞いて喜びを共有できる「らとも」(寺友)の絆こそ確かなものはあります。三月は行事が満載です。十三日(月)午前午後「三重組十三日講」、十九日(日)午後「春季永代経」(一日だけ)二十日(月)朝九時「三全仏教婦人会総会」(今年から朝)楽しいみな法座の連続です。皆様のご参詣を心よりお待ちしております。

合掌

令和五年二月

善正寺坊守 拝